

## 2月～6月のイベント

2月に節分で豆まきを行い、3月は離任式と鳥取市鹿野町総合支所で選挙の投票、4月は着任式と鹿野町越路ヶ丘公園でお花見、5月は当園近くの道路沿いの清掃ボランティアや中庭に植えた野菜の収穫、ゴールデンウィーク中にアイスクリーム屋さんを開き、丁目単位で外出も行いました。写真には掲載していませんが、他にも青島公園でお弁当を食べたり、お菓子作りに挑戦されたり、美味しいスイーツ等を食べたりされました。



節分



選挙投票



お花見



道路清掃ボランティア



野菜収穫



アイスクリーム屋さん



外出



『第40回ふれあい広場』へのアート作品出展  
日にち：6月10日（土） 場所：産業体育館

## お問い合わせ

〒689-0426  
鳥取市鹿野町寺内 102 番地  
障害者支援施設 鹿野第二かちみ園

TEL:0857-84-3267 FAX:0857-84-3293  
E-mail dai2\_info@tottori-kousei.jp (代表)  
HP <http://www.tottori-kousei.jp/dai2k.html>

# 鹿野第二かちみ園だより

～42号～

### 鹿野第二かちみ園基本理念

1. 利用者の権利を擁護します
2. 利用者主体のサービスを提供します
3. 地域に貢献する施設を目指します

2023年6月発行

### 少しずつコロナ前の生活に

園長 藤崎慎一

令和2年1月に国内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから約3年4ヶ月というものは、当園においても皆が息を潜め、8回の波の上がり下がりたびに一喜一憂してきたところです。そんな新型コロナウイルスも5月8日から感染症法上5類に位置づけられ、一般的には季節性インフルエンザが一年中起こりうる環境になったというイメージでしょうか。ただ当園のようなハイリスク施設はやはり世間一般以上に神経を尖らせながら行動していく必要があります。第9波が来るのか来ないのか、病原性の高い株に置き換わるのか換わらないのか等の判断が必要となりますが、残念ながら毎日の感染者数や重症者数の発表は無くなりました。とりあえず鳥取市で言えば、定点医療機関から報告された前週1週間（月～日曜）の新規陽性者数が毎週水曜に速報として公表されますので、前週の動向を見ながら、そして感染予防対策を取りながら、少しずつコロナ禍前の「社会の一員」として様々な社会活動に参加していけたらと思っています。ご家族の面会や自宅帰省などについても条件を緩和していきたいと思ひますし、必要に応じて居室への出入りも検討したいと思ひます。やはり閉鎖的な生活は様々な弊害をもたらすとつくづく考えさせられた3年4ヶ月でした。皆様には本当にご心配をおかけしました。

# 新任者

よろしくお願ひします

- ① 好きな食べ物  
お好み焼き
- ② 嫌いな食べ物  
豆腐
- ③ 趣味・関心  
スポーツ観戦
- ④ 好きな言葉  
温故知新



主任支援員 井口 賢一郎  
羽合ひかり園より

- ① 好きな食べ物  
えび千り
- ② 嫌いな食べ物  
特になし
- ③ 趣味・関心  
道の駅、面白い文房具
- ④ 好きな言葉  
明けない夜はない



管理栄養士 奥羽 伸子  
ふしの白寿苑より

- ① 好きな食べ物  
牛丼、コーヒー
- ② 嫌いな食べ物  
ホルモン
- ③ 趣味・関心  
バレーボール
- ④ 好きな言葉  
がんばろう



支援員 春名 皓史  
友愛寮より

- ① 好きな食べ物  
焼肉、お寿司
- ② 嫌いな食べ物  
ごうや豆腐、かつお節
- ③ 趣味・関心  
映画鑑賞、お酒を飲む事
- ④ 好きな言葉  
ありがとう



支援員 森下 喬子  
厚和寮より

- ① 好きな食べ物  
オムライス
- ② 嫌いな食べ物  
トマト
- ③ 趣味・関心  
サッカー
- ④ 好きな言葉  
笑顔



支援員 中井 颯希  
新規採用

- ① 好きな食べ物  
甘い物
- ② 嫌いな食べ物  
メンチカツ、串カツ
- ③ 趣味・関心  
映画鑑賞、パン作り
- ④ 好きな言葉  
平穏



介助員 小河 佳子  
ふしの白寿苑より



主任管理栄養士  
村上 幸代  
羽合ひかり園へ



支援員  
梶川 清司  
羽合ひかり園へ



支援員  
廣田 昌之  
友愛寮へ



介助員  
三ツ国 弘子  
友愛寮へ



介助員  
竹本 美子  
友愛寮へ



介助員  
相賀 正起  
羽合ひかり園へ

お世話になりました

# 離任者

## 令和5年度 鹿野第二かちみ園事業計画(抜粋)

### 1 基本方針

様々な障がい特性を理解し、その特性に対する専門性を高めるとともに、一人ひとりの個性を尊重することで、利用者が健やかにそして自らの意思により自分らしい生活を営むことができるように援助していく。

### 2 今年度重点目標

#### (1) 権利擁護と意思決定支援

虐待防止の徹底、合理的配慮の推進はもとより、広義の権利擁護といえる自己決定・自己実現を尊重した「その人らしい生活」の提供（いわゆる意思決定支援）に努める。

#### (2) 利用者支援の専門性の向上

##### ア 行動障がいのある方への専門的支援

定期的に発達障がい支援の専門職の派遣を受けながら内部検討会を重ね、自閉症支援の専門性を養う。

##### イ 身体障がいやフレイル状態の方などへの専門的支援

(ア) 理学療法士がリハビリテーション計画を作成し、集団体操や歩行訓練の他、個々人に応じた機能訓練、生活リハビリ、温熱療法等を実施する。

(イ) 褥瘡予防、誤嚥防止、拘縮改善等のためのポジショニングに努める。

##### ウ 精神障がい等のある方への専門的支援

精神科医の定期的往診をとおして、障がい特性や心理、そしてその人のそのときの接し方等を直接学び、適切な支援に繋げる。

##### エ その他の支援

書道、絵画、造形などのアート活動、音楽療法、各種アクティビティ、ユニット活動（おやつ作り等）をとおして、楽しみのある生活に繋げる。なお、施設外においても、様々な社会資源を積極的に活用することで、施設の中で生活が完結しないように努める。

## アートレッスン

今年度より、主に中部でアート活動をされている方を講師として招聘し、年に7回アートレッスンを受けることになりました。アクリル・水彩・パステル・色鉛筆・日本画・カラーインク・コピック等、あらゆる画材に精通されています。様々な作品の作り方等を実際に触れることで、新たな学びや発想が増える良い機会だと感じています。



## 日帰り旅行

5月25日、今年度の第一班として三丁目の利用者さんが花回廊へ日帰り旅行に行きました。天候も良く美味しい昼食を食べ、気分がリフレッシュされる1日となりました。

